

みなさん、こんにちは。

明石公園の桜がよいよ満開で、土日はたくさんの方がお花見を楽しまれたようです。大陸からの黄砂の影響か、空がもやっとしていました。学校園も新1年生をむかえ、新たなスタートですね。

## 1. 与勇輝展が始まりました

4月7日(金)16:00から博物館関係者を招待し、開会式がありました。式の中であいさつに立たれた北口市長は10年来の与勇輝ファンで、東京在住時に初めて与作品と出会い、河口湖ミュージアム・与勇輝館を訪ねたエピソードを披露され、「与作品を見て、人が人を愛し、いつくしむ気持ちになれたらいい」と話されました。

与勇輝氏は「人形はしっかり立っています。阪神淡路大震災のような地震でない限り、倒れることはありません。そのためにデッサンをしっかりとし、力学的に立つように作っています」と制作の一端を話されました。



北口市長



与勇輝氏



テープカット



お留守番



まどろみ



椿峠の合戦

## 2. 展示準備中の様子

4月6日(木)、前日までに展示ケースの搬入と設置が終了し、この日よいよ作品の展示が始まりました。スタッフが人形の梱包をほどき、ケース内に並べていきます。与氏は一体一体の人形を確認しながら、置き方を手直します。「その子はね、ちょっと座りにくいんだよ。もう少し、前かがみにしてやって」と与氏。「午後の乗客」という作品で、列車の座席に座る人々の情景を表現した人形たちがたくさんいます。その中の一体一体に座らせ方のコツがあるようでした。「闘」や「椿峠の合戦」では、複数の人形たちが作り出すバランスが大切とのこと。



展示中の与勇輝氏



闘

それぞれの人形が作り出す雰囲気、バランスのよさ、何かを語りかけてきそうな表情、人形たちのさまざまなメッセージに耳を傾けてください。

<http://www.edi.akashi.hyogo.jp/bunpaku/>

明石市立文化博物館 編集：永田浩史